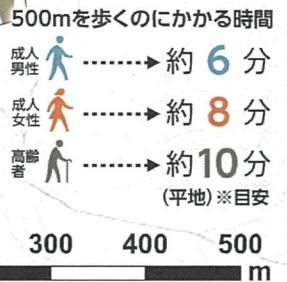


長崎市 中島川 洪水ハザードマップ

長崎市 平成31年3月 作成

縮尺 1:7,000



このハザードマップは、想定される最大規模の降雨により、中島川が氾濫した場合に想定される「浸水の深さ」や「避難所」などを表示したものです。

浸水想定区域 想定最大規模 想定雨量: 1,085mm 中島川 24時間の総雨量

地図表示	浸水の深さ / 状況	避難行動
	家屋倒壊等氾濫想定区域 堤防が削られて、建物の倒壊が想定される区域	早期に立退き避難が必要な区域 特に早めの避難を心がけましょう ・氾濫がすでに始まっている場合 → 近隣の安全な場所へ ・外出する危険な場合 → 屋内安全確保 原則として 浸水時に想定される状況を踏まえ、自らの判断により屋内安全確保 立退き避難
	5m~ 2階の屋根以上が浸水	
	3m~5m 2階の屋根まで浸水	
	0.5m~3m 2階の床下まで浸水 ~0.5m 1階の床下まで浸水	

土砂災害 平成30年7月31日告示分まで

- 警戒区域
- 特別警戒区域
- 警戒区域

避難所 **避難場所** **警察** **消防** **防災無線**

災害拠点病院 **水位観測所** **路面電車** **JR**

市役所

※ 要配慮者利用施設は、長崎市ウェブサイトをご参照してください。高齢者、障害者、乳幼児など、配慮を要する方が利用する施設

長崎市 中島川 洪水ハザードマップ

長崎市ウェブサイト内
ハザードマップページ
QRコード

避難所・避難場所に関するお問い合わせ
長崎市 防災危機管理室 095-822-0480

- 避難所 (建物)**
災害により自宅で生活できない場合、一時的に滞在できる建物
- 避難場所 (広場)**
災害の危険から一時的に逃れるための広場など

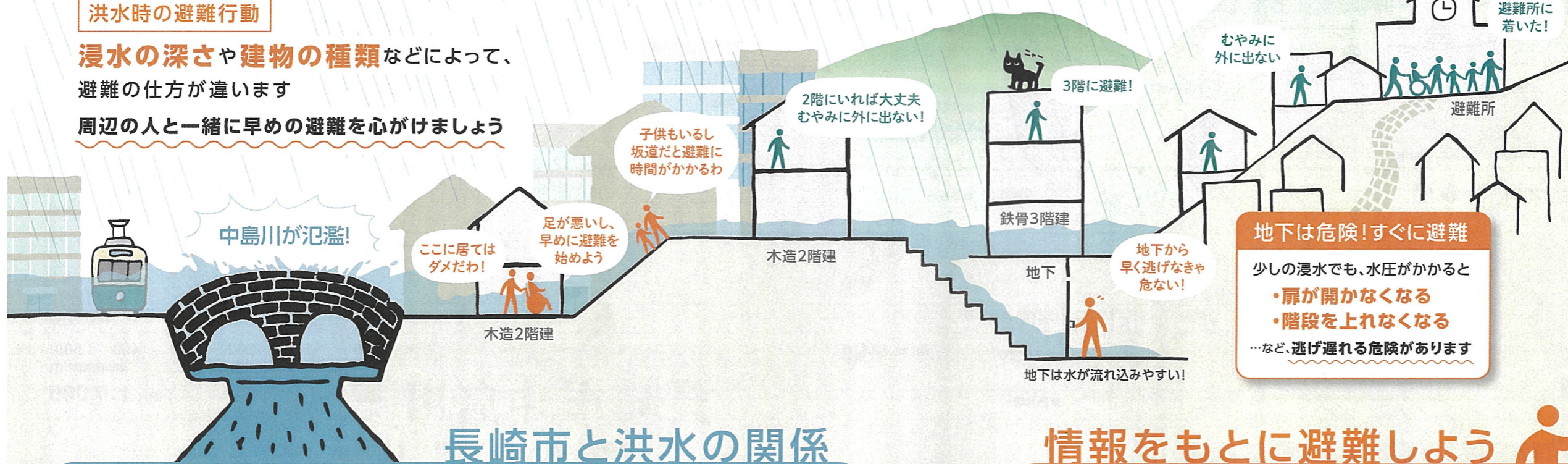
避難所へ
早めに避難しましょう!
逃げ遅れた場合は、浸水想定よりも
高い2階以上などに避難しましょう

日頃の備えが大切!

- 非常持ち出し品の準備**
非常時に必要なものは、いつでも持ち出せるように準備しましょう(水、食べ物、貴重品など)
- 情報収集**
インターネットやテレビ(データ放送)など、天気や災害に関する情報の入手方法を知っておきましょう
- 避難先までの道順**
避難所・避難場所への道順は事前に調べておきましょう

洪水時の避難行動

浸水の深さや建物の種類などによって、
避難の仕方が違います
周辺の人と一緒に早めの避難を心がけましょう



長崎市と洪水の関係

長崎市の弱点は風水害

地形の特徴

平坦地が少ないから
斜面地に住宅が多い

集中豪雨になると...

風水害の被害を受けやすい

河川の溢水
市街地の冠水
斜面の崩壊

だから備えが必要!

7.23長崎大水害

昭和57年(1982年)7月23日に長崎市を襲った集中豪雨は3日間で573mmもの降水量を記録。257人(当時の長崎市)の尊い命と多くの財産を奪い、経済活動・都市機能に甚大な被害を与えました。

死者 257人

住家 全壊棟数 447棟

被害 半壊棟数 746棟

23日午後7時~午後8時

111.5mmの雨量を記録

被災水位

157cm

1982年7.23長崎大水害での思案橋の浸水水位



情報をもとに避難しよう

避難の決め手となる3つの情報

気象情報
注意報・警報など

雨の降り方
周囲の状況

市からの
避難情報

情報を確認して、自主的に早めの行動を心がけましょう

川の水位が高くなった場合、下記のように市から「呼びかけ避難情報」を発令します

地域の防災訓練に参加しよう!

避難準備・高齢者等避難開始

避難準備

避難に時間のかかる方は、早めに避難を開始



避難勧告

速やかに避難開始



避難指示(緊急)

ただちに避難開始



避難情報の伝達

様々な手段で住民のみなさんに避難情報をお伝えします

- 防災行政無線
- 市防災メール
- インターネット・SNS
- 緊急速報メール
- テレビ・ラジオ

住民のみなさん

防災行政無線
気象情報と避難情報をお知らせします

テレビや電話でも内容を確認できます

NBCテレビ dボタン→自治体情報→防災・防犯情報
電話 0180-999-002

防災メール

登録制

防災行政無線の放送内容をメールでお届けします

登録方法は2種類

① 右上のQRコードを読みとり登録する

② 下記のメールアドレスに空メールを送る

bousai.nagasaki-city@raidai.ktaiwork.jp

その後、返信されるメールにて登録する



困ったときの対応・連絡先

長崎市役所 (代表) 095-822-8888

消防 (災害・救急) 119 / 警察 (事件・事故) 110

長崎市では、土砂災害のハザードマップも作成し、市役所で配布しています